

新しい大学院生に贈る言葉 —「ゆとり世代」に期待する—

研究科長 栗原 正仁

大学院情報科学研究科に入学された、留学生24名を含む209名の修士課程の皆さん、留学生11名と社会人7名を含む42名の博士後期課程の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今年は、いわゆる、「ゆとり教育」を受けてきた「ゆとり世代」の学生が初めて卒業した年です。大学院では、進学を目指したその世代の方を、修士課程の1年生として初めて迎えたこととなります。そこで、特にその人たちに向けたメッセージをお伝えしたいと思います。

「ゆとり教育」とは、従来の教育を「詰め込み教育」であるとして、時間と内容を縮小した教育のことです。そこで生じた「ゆとり」を「総合的な学習の時間」として使うのが特徴です。しかし、その「縮小」が「学力の低下」に結びついたとして、最近の評判は良くありません。

しかし、「ゆとり教育」を失敗と決めつけるのは、まだ早いと思います。皆さんの活躍の場はまだ与えられていません。「詰め込み」をやめて、「総合的な思考能力」を養う教育を受けた人たちが、まだまだ「詰め込み」有利の学力テストを受けさせられて、不公平な判定を受けたのかもしれませんが。

「ゆとり教育」の成果を皆さんが発揮するとすれば、この大学院が出发点です。大学院では、かなり大きな時間を「研究」に使います。習ったことをそのまま理解し、記憶し、ちょっとした（つまらない）応用問題が解けるといって、普通の意味での「学力」が高いからといって、優れた「研究成果」を生み出せるわけではありません。幅広い分野について健全な好奇心をもち、様々な知識を総合的に組み合わせる力。問題を与えられるのではなく、問題を自ら見いだす力。いろいろな人と交渉し、協力して、チームワークで問題を解決する力。このように、研

究には、ペーパーテストでは測ることのできない人間的な総合力も必要です。それを、皆さん方は持っているのではないのでしょうか。

インターネット上のフリー百科事典「ウィキペディア」の「ゆとり教育」の項目を読むと、この時代の良い面として、「国際性や社会参加・社会貢献の意識が高い積極面」を指摘しています。もしそれが本当なら、それは素晴らしいことです。「国際性」は、日本ではもう何十年も前から必要性が唱えられていますが、国際的な日本人は、いまだになお大いに不足しています。現代の高度で複雑な科学技術は、頭に詰め込めるようなものではありません。ほとんどの知識はネットの中にあります。重要なのは、基礎をきちんと理解すること。そして、自分のできないことは、世界の人々と協力して、社会貢献という観点から、真に人類の役に立つ創造物を生み出すことです。今から数十年後、歴史学者は、「日本はあの年（2010年）から変わり始めた。」と述懐するかもしれません。皆さん方は、その新しい時代の先駆者として力を発揮してください。



研究科長挨拶

[左列] 6 専攻長、[右列（奥から）] 2 副研究科長、
工学系事務部長

（本記事は、4月2日に举行された情報科学研究科入学式での研究科長挨拶に基づくものです。）

第6回産業技術フォーラム

去る3月1日（月）から5日（金）の5日間にわたり、当研究科において産業技術フォーラムが開催されました。本フォーラムは、情報科学研究科就職企画室が多くの企業の協力を得て毎年実施しているもので、情報科学研究科および情報エレクトロニクス学科の学生を対象としています。フォーラムの中心は、現在産業界で活躍中の方々からの講演であり、さまざまな産業分野における技術動向や、そこで働く技術者・研究者に求められる専門性等についての話を聞くことができます。これにより学生が、産業界における技術者や研究者についての理解を深め、将来の進路を見据えた勉学意識を高めることを主な目的としています。

今回のフォーラムには、様々な業種から全73社が参加し、各社の特色や最新の技術・研究開発の状況などが紹介されました。講演会場はもとより、講演の後に各社毎に設定された交流会にも多くの学生が集まりました。企業の方々との質疑応答等、活発な情報交換が行われ、学生各自の将来の進路を多面的に考える有意義な機会となりました。

（就職企画室 担当教員代表 清水 孝一）

GCOEプログラム国際シンポジウム

1月18日（月）から20日（水）の間、学術交流会館において、グローバルCOEプログラム「知の創出を支える次世代IT基盤拠点」（拠点リーダー：有村博紀）の主催による第3回のGCOE国際シンポジウム「GCOE-NGIT2010（知の創出を支える次世代IT）」が開催されました。

シンポジウムは、小柴研究科長の開会挨拶で幕をあけ、続いて国内外の第一線の研究者を招いた基調講演のほか、特に優秀な成果を上げた大学院生による学生選抜セッション、大学院生およびPDによるポスターセッションが行われました。また、本プログラムでは、拠点形成の大きな柱として異分野共同研究を掲げており、本年度は、情報分野とナノ分野の異分野共同研究をテーマとしたパネル討論や、異分野共同研究プロジェクトに関わる講演も行われました。

本シンポジウムは、企業及び学外からの参加者も含め、のべ300名以上の参加者を迎えて、活気あふれる国際シンポジウムとなりました。関連して、シンポジウム後にGCOE主催ポストワークショップが、1月20日（水）・21日（木）に北大VBLにおいて開催されました。

（グローバルCOE 特任助教 伊藤 真純）

平成22年度大学院入学者数

平成22年度北海道大学大学院情報科学研究科専攻別入学者数は下表のとおりです。

平成22年度専攻別入学者数

専攻	定員	入学者数
複合情報学	24	33 [4]
	4	6 [1] ①
コンピュータサイエンス	24	26 [7]
	8	6 [6]
情報エレクトロニクス	39	43 [4]
	8	6 [1]
生命人間情報科学	33	34 [2]
	6	6 [1] ①
メディアネットワーク	30	37 [5]
	8	11 [2] ③
システム情報科学	27	36 [2]
	8	7 ②
計	177	209 [24]
	42	42 [11] ⑦

・上段：修士課程、下段：博士後期課程

・[]：留学生（内数）

・丸囲み数字：社会人特別選抜（内数）

平成22年度科学研究費補助金採択状況

情報科学研究科からの新規申請80件のうち、4月20日現在19件について採択内定が通知され、継続分50件と合わせて69件が採択の見込みとなりました。教員の転入・転出などに伴う増減を反映させた種目別の採択件数ならびに交付総額など、詳細は次号でお伝えします。

平成21年度専攻主催FD研修会の結果

平成21年度は、研究科全体のFD研修会1回の他に、各専攻主催の研修会を実施しました。その結果、参加率は前年度の50%から70%に上昇しました。また、「今回のFDは授業の改善に有効と思いませんか？」というアンケートに対して、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した教員の割合は、研究科全体の研修会（過去4回の平均）73%に対して、専攻主催の研修会（6専攻の平均）では99%に達しました。

（平成21年度FD推進室長 栗原 正仁）

平成22年度情報科学研究科専攻長・各種委員会等一覧

●専攻長・副専攻長

専攻等	専攻長 (任期：1年)	副専攻長 (任期：1年)
複合情報学専攻	小野哲雄	古川正志
コンピュータサイエンス専攻	原口誠	今井英幸
情報エレクトロニクス専攻	本久順一	末岡和久
生命人間情報科学専攻	平田拓	清水孝一
メディアネットワーク専攻	野島俊雄	山本強
システム情報科学専攻	金井理	小笠原悟司

●運営会議等

専攻等	運営会議 (任期なし)	専攻長会議 (職指定)	コース長会議 (職指定)
研究科長 (副工学部長)	栗原正仁	栗原正仁	栗原正仁
副研究科長	宮永喜一夫 高橋庸夫	宮永喜一夫 高橋庸夫	宮永喜一夫 高橋庸夫
複合情報学専攻		小野哲雄 古川正志	小野哲雄 古川正志
コンピュータサイエンス専攻		原口誠 今井英幸	原口誠 今井英幸
情報エレクトロニクス専攻		本久順一 末岡和久	本久順一 末岡和久
生命人間情報科学専攻		平田拓 清水孝一	平田拓 清水孝一
メディアネットワーク専攻		野島俊雄 山本強	野島俊雄 山本強
システム情報科学専攻		金井理 小笠原悟司	金井理 小笠原悟司
1年クラス担任代表			富田章久
2年クラス担任代表			有村博紀
(旧)情報工学科長			荒木健治
(旧)電子工学科長			福井孝志
(旧)システム工学科長			金子俊一
事務部長	阿部哲夫		

●常置委員会

○委員長

専攻等	将来構想委員会 (職指定)	評価委員会 (任期：2年) (H21.4.1～)	学務委員会 (任期：2年) (H21.4.1～2名) (H22.4.1～4名)	学術委員会 (任期：2年) (H22.4.1～)
研究科長	○栗原正仁	○栗原正仁		
副研究科長	宮永喜一 高橋庸夫	宮永喜一 高橋庸夫	○高橋庸夫	○宮永喜一
複合情報学専攻	小野哲雄 古川正志	古川正志	鈴木恵二 (H21.4.1～)	鈴木恵二
コンピュータサイエンス 専攻	原口誠幸 今井英幸	田中讓	田中讓	工藤峰一
情報エレクトロニクス 専攻	本久順一 末岡和久	山本眞史	村山明宏	福井孝志
生命人間情報科学 専攻	平田拓一 清水孝一	清水孝一	河原剛一 (H21.4.1～)	遠藤俊徳
メディアネットワーク 専攻	野島俊雄 山本強	野島俊雄	荒木健治	長谷山美紀
システム情報科学 専攻	金井理司 小笠原悟	小野里雅彦	金子俊一	北裕幸
教育企画室			渡邊日出海	湊真一
研究企画室				北裕幸
広報・情報室				
就職企画室				
安全衛生管理室				
事務部長	阿部哲夫	阿部哲夫		
総務課長				向井地博之
教務課長			中村裕	中村裕
事務室長	不動康則		不動康則	不動康則

●室

○室長

専攻等	研究企画室 (任期：2年) (H21.4.1～1名) (H22.4.1～5名)	教育企画室 (任期：2年) (H22.4.1～)	広報・情報室 (任期：2年) (H21.4.1～2名) (H22.4.1～4名)	就職企画室 (任期：1年) (H21.10.1～)	FD推進室 (任期：2年) (H22.4.1～)	安全衛生管理室 (任期：2年) (H21.4.1～1名) (H22.4.1～1名)
研究科 長						
副 研 究 科 長	○宮 永 喜 一	○高 橋 庸 夫	○宮 永 喜 一		○宮 永 喜 一	
複 合 情 報 学 専 攻	川 村 秀 憲 (H21.4.1～)	小 山 聡	山 本 雅 人	古 川 正 志	井 上 純 一	
コ ン プ ュ ー タ サ イ エ ン ス 専 攻	喜 田 拓 也	湊 真 一	中 村 篤 祥	今 井 英 幸	村 井 哲 也	
情 報 エ レ ク ト ロ ニ ク ス 専 攻	有 田 正 志	岡 本 淳	浅 井 哲 也 (H21.4.1～)	末 岡 和 久	福 井 孝 志	葛 西 誠 也
生 命 人 間 情 報 科 学 専 攻	高 橋 誠	渡 邊 日 出 海	岡 嶋 孝 治	○清 水 孝 一	高 橋 誠	峯 田 克 彦 (H21.4.1～)
メ デ ィ ア ネ ッ ト ワ ー ク 専 攻	土 橋 宜 典	伊 藤 敏 彦	山 本 学	山 本 強	大 鐘 武 雄	
シ ス テ ム 情 報 科 学 専 攻	北 裕 幸	金 子 俊 一	原 亮 一 (H21.4.1～)	小 笠 原 悟 司	山 下 裕	
事 務 部 長						
教 務 課 長		中 村 裕				
事 務 室 長	不 動 康 則		不 動 康 則	不 動 康 則	不 動 康 則	

●工学部委員会委員情報エレクトロニクス学科

所 属	コース長 (任期：1年)	教務委員会 (任期：1年)	学生委員会 (任期：1年)	入試委員会 (任期：1年)	教育評価委員会 (任期：1年)
副 工 学 部 長	栗 原 正 仁				栗 原 正 仁
全 学 教 務 委 員 会	高 橋 庸 夫	高 橋 庸 夫	高 橋 庸 夫	高 橋 庸 夫	高 橋 庸 夫
情 報 工 学 コ ー ス	小 野 哲 雄	小 山 聡	井 上 純 一	小 野 哲 雄	古 川 正 志
コンピュータサイエンスコース	原 口 誠	吉 田 哲 也	村 井 哲 也	原 口 誠	田 中 讓
電 子 情 報 コ ー ス	本 久 順 一	雨 宮 好 仁	雨 宮 好 仁	本 久 順 一	村 山 明 宏
生 体 情 報 コ ー ス	平 田 拓	村 林 俊	小 柳 香 奈 子	峯 田 克 彦	清 水 孝 一
メディアネットワークコース	野 島 俊 雄	荒 木 健 治	小 川 恭 孝	長 谷 山 美 紀	長 谷 山 美 紀
シ ス テ ム 情 報 コ ー ス	金 井 理	五 十 嵐 一	小 笠 原 悟 司	金 井 理	北 裕 幸

●工学部入試広報室

情報エレクトロニクス学科 (任期：2年) (H21.4.1～)	菅 原 広 剛	齊 藤 晋 聖
---------------------------------------	---------	---------

●工学部 学科長・副学科長

学 科	学科長 (任期：1年)	副学科長 (任期：1年)
情報エレクトロニクス学科	金 井 理	古 川 正 志

●工学部将来構想委員会委員

学科長 (任期：1年)	金 井 理
----------------	-------

●工学研究科 (旧) 専攻長・副専攻長

旧 専 攻	専攻長 (任期：1年)	副専攻長 (任期：1年)
システム情報工学専攻	鈴 木 恵 二	古 川 正 志
電子情報工学専攻	本 久 順 一	未 岡 和 久

●工学部 (旧) 学科長・副学科長

旧 学 科	学科長 (任期：1年)	副学科長 (任期：1年)
情 報 工 学 科 長	荒 木 健 治	今 井 英 幸
電 子 工 学 科 長	福 井 孝 志	原 口 誠
シ ス テ ム 工 学 科 長	金 子 俊 一	五 十 嵐 一

【人事異動】

〔研究科長・副研究科長〕

(任期) 平成22年4月1日～平成24年3月31日	
栗原 正仁 宮永 喜一 高橋 庸夫	研究科長 副研究科長(総務・研究担当) 副研究科長(教育担当)

〔教授〕

(定年退職) 平成22年3月31日	
三島 瑛人	情報エレクトロニクス専攻 先端エレクトロニクス講座
(採用) 平成22年4月1日	
富田 章久	情報エレクトロニクス専攻 先端エレクトロニクス講座 (日本電気株式会社ナノエレクトロニクス研究所より)

〔客員教授〕

(任期満了退職) 平成22年3月31日	
中沢 憲二	メディアネットワーク専攻 (連) ユビキタスネットワーク講座
中川 泰夫	システム情報科学専攻 (連) システム展開情報学講座
松崎 吉衛	システム情報科学専攻 (連) システム展開情報学講座
松本 一也	システム情報科学専攻 (連) 実システム開発講座
木谷 強	システム情報科学専攻 (連) 実システム開発講座
古澤 賢司	システム情報科学専攻 (連) 実システム開発講座
荒木 正治	システム情報科学専攻 (連) 実システム開発講座
(採用) 平成22年4月1日	
大和 淳司	メディアネットワーク専攻 (連) ユビキタスネットワーク講座 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所)
前田 俊二	システム情報科学専攻 (連) システム展開情報学講座 (株)日立製作所生産技術研究所)

〔客員准教授〕

(任期満了退職) 平成22年3月31日	
妹尾 裕之	システム情報科学専攻 (連) 実システム開発講座
岡本 隆司	システム情報科学専攻 (連) 実システム開発講座
上野 新滋	システム情報科学専攻 (連) 実システム開発講座

〔特任助教〕

(採用) 平成22年4月1日	
棟方 渚	複合情報学専攻 複雑系工学講座 (札幌市立大学 助手より)

〔事務職員〕

(任期満了退職) 平成22年3月31日	
稲川 憲	教務担当 嘱託職員
米本 澄世	総務担当 事務補佐員
(転出) 平成22年3月31日	
田中 日出雄	情報科学研究科事務室 室長 (経済学研究科・経済学部事務長へ)
吉川 幸児	総務担当 事務職員 (医学系事務部会計課 外部資金担当へ)
細井 真弓美	情報科学研究科図書担当 事務職員 (医学研究科・医学部・保健科学研究院 図書担当へ)
(昇任) 平成22年4月1日	
吉田 紀子	会計担当 主任 (応用物理学専攻講座 共回事務室より)
(異動) 平成22年4月1日	
野田坂 悦子	教務担当 主任 (エネルギー環境システム専攻 生産・ 環境システム講座 主任より)
(転入) 平成22年4月1日	
不動 康則	情報科学研究科事務室 室長 (北方生物圏フィールド科学センター 事務長補佐より)
平野 知	情報科学研究科図書担当 事務職員 (文学研究科・文学部図書担当より)
(採用) 平成22年4月1日	
椎木 梓	総務担当 事務職員
横山 亜紀	総務担当 事務補佐員
小野 沙耶加	情報科学研究科図書担当 事務補助員

〔技術職員〕

(任期満了退職) 平成22年3月31日	
金谷 睦	共通工作室 嘱託職員
(異動) 平成22年4月1日	
大塚 尚広	電子計算機システム室 技術職員 (工学系教育研究センター 技術職員より)
多田 俊一郎	生命人間情報科学専攻 生体システム 工学講座 嘱託職員 (理工系放射性同位元素総合研究室へ)
(採用) 平成22年4月1日	
石川 貞夫	システム情報科学専攻 システム融合 情報学講座 嘱託職員

【受賞】

2009年12月17日	巻口 誉宗
情報工学コース 4年(当時)	
社団法人 計測自動制御学会 システム・情報部門学術講演会 2009 奨励賞 「群知能シミュレーションにおける異方性の創発とその解析評価」	
2009年12月25日	神田 真理
コンピュータサイエンス専攻 修士課程2年(当時)	
IEEE Consumer Electronics Society Kansai Chapter, IEEE International Symposium on Consumer Electronics(IEEE/ISCE2009) Young Researcher Award, "Family Communication Support Tool Using Time-Series Visualization of Individual Ambient Temperature"	

2010年1月15日	荒木 剛
生命人間情報科学専攻 修士課程2年(当時)	
テクノリネサンス・ジャパン 第2回企業に研究開発してほしい未来の夢アイデア・コンテスト QUICK賞 優良賞「街行く人々の潜在的な需要を吸い取る画期的新ビジネス」	
2010年1月23日	岩淵 禎弘
生命人間情報科学専攻 博士研究員	
日本病態生理学会 第20回日本病態生理学会奨励賞「虚血時のアストロサイトにおける細胞外ATP放出制御メカニズム-ブリン受容体の関与-」	
2010年1月25日	(各賞ごとに氏名等を掲載)
IEEE Sapporo Section, 2009 IEEE Sapporo Section	
Best Paper Award	村尾 覚志
	メディアネットワーク専攻 博士後期課程2年(当時) T. Murao, K. Saitoh, and M. Koshiba, "Structural optimization of air-guiding photonic bandgap fibers for realizing ultimate low loss waveguides," IEEE/OSA Journal of Lightwave Technology, vol. 26, no. 12, pp. 1602-1612, June 2008.
Encouragement Award	川口 雄揮
	メディアネットワーク専攻 博士後期課程1年(当時) Y. Kawaguchi, N. Kono, K. Saitoh, and M. Koshiba, "Loss reduction mechanism for coupled cavity waveguides in one-dimensional photonic crystals," IEEE/OSA Journal of Lightwave Technology, vol. 26, no.20, pp. 3461-3467, Oct. 2008.
2010年1月25日	大佐賀 毅
情報エレクトロニクス専攻 修士課程1年(当時)	
IEEE Sapporo Section 平成21年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会 Student Member Best Presentation Award「NLDプラズマの解析(III)電子数密度分布と平均エネルギー分布の誘導電界位相依存性」	
2010年2月9日	横田 泰斗
複合情報学専攻 修士課程2年(当時)	
日刊工業新聞社 第5回キャンパスベンチャーグランプリ北海道 最優秀賞「視覚障害者バリアフリー装置「MARK I(マークアイ)」の開発と事業化」	
2010年2月10日	畑中 泰大 ¹⁾ 、木村 圭司 ²⁾ 、本間 利久 ³⁾ 、他2名
1) システム情報科学専攻 修士課程1年(当時)、2) 同専攻 准教授、3) 同専攻 教授	
日本写真測量学会北海道支部 平成21年度日本写真測量学会北海道支部講演会 論文賞「PALSARのオブジェクト分類による北海道の水田抽出」	
2010年3月2日	小山 聡
複合情報学専攻 准教授	
日本データベース学会 上林奨励賞「ウェブ情報源を対象とした情報検索・機械学習・データマイニングなどの分野で鋭意データベース研究に取り組み国際的に高く評価される成果をあげた」	
2010年3月3日	横田 泰斗
複合情報学専攻 修士課程2年(当時)	
日刊工業新聞社 第6回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会 特別賞・マイクロソフト賞「視覚障害者バリアフリー装置「MARK I(マークアイ)」の開発と事業化」	

2010年3月5日	駒形 啓太
情報エレクトロニクス専攻 修士課程1年(当時)	
社団法人 応用物理学会 北海道支部 第13回応用物理学会北海道支部発表奨励賞「縦型磁気抵抗素子応用に向けたMOVPE成長MnAsナノクラスタの形状制御」	
2010年3月5日	山野 健太
情報エレクトロニクス専攻 修士課程1年(当時)	
2010 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing (NCSP'10), Student Paper Award, "Fast Local Adaptive Tone Mapping with Artifact Suppression Using Image Clustering"	
2010年3月11日	坂野 遼平
情報工学コース 4年(当時)	
社団法人 情報処理学会 情報処理学会創立50周年記念第72回全国大会 学生奨励賞「アプリケーション層マルチキャストにおけるアーカイブ取得方式の提案とその応用」	
2010年3月17日	溝口 知広 ¹⁾ 、金井 理 ²⁾
1) システム情報科学専攻 博士後期課程3年(論文投稿当時)、2) 同専攻 教授	
社団法人 精密工学会 2009年度 精密工学会論文賞「ICPとリージョンローイングを組み合わせた機械部品計測メッシュのユークリッド対称性認識手法」 精密工学会誌 Vol.75 No.4, pp.554-560 (2009)	
2010年4月1日	大佐賀 毅
情報エレクトロニクス専攻 修士課程2年	
社団法人 電気学会 電気学会優秀論文発表賞「NLDプラズマの解析(III)電子数密度分布と平均エネルギー分布の誘導電界1位相依存性」(平成21年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会で発表)	

新教員紹介

1. 最終学歴および学位、2. 前職、3. 専門分野



富田 章久 教授

情報エレクトロニクス専攻先端エレクトロニクス講座

1. 東京大学大学院理学系研究科修士課程修了、博士(工学)
2. 日本電気株式会社ナノエレクトロニクス研究所主幹研究員
3. 量子情報、量子エレクトロニクス

訃報

情報科学研究科図書担当 事務職員

廣中 恵子(ひろなか けいこ)氏 (享年58歳)

廣中恵子氏は、平成22年2月6日(土)、58歳でご逝去されました。ここに、生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

IST NEWS No.21 平成22年5月28日発行

発行：北海道大学大学院情報科学研究科 広報・情報室
(編集担当：浅井哲也・山本雅人・佐藤健二・小山内詔子)



情報科学研究科ホームページ

<http://www.ist.hokudai.ac.jp/>

